

JR 小樽駅前広場再整備基本計画

令和4年5月

小樽市

はじめに



小樽駅前広場は、観光地として国内外で高い知名度を有する本市の玄関口であるとともに、主要な交通結節点であります。

しかし、昭和51年（1976年）の整備完了から46年が経過した現在、自家用車の普及や観光客の増加など、交通状況が変化しており、歩行者と車両の輻輳や歩行者が車路を乱横断するなど、安全上の課題があります。

一方で、駅前広場に隣接する駅前第1ビルでは再開発の準備が進められていることや、令和12年度末（2030年度末）には北海道新幹線の札幌延伸が予定されていることから、今後は、この新たな施設等との連携も必要になります。

本市では、この現状を踏まえ、この度「JR小樽駅前広場再整備基本計画」を策定し、その整備方針を「安全性と利便性の高い交通拠点づくり」と「周辺と一体となった魅力ある空間の創出とにぎわいづくり」と決めました。

市民の皆さんをはじめ、小樽を訪れる皆さんにとりましても、安心して小樽の玄関口をご利用いただけるよう、安全性や利便性を考慮した、にぎわいのある新たな駅前広場を目指すものです。

今後は、本計画に基づき、小樽駅前広場の再整備に向け、取り組んでまいります。

最後になりますが、本計画の策定にあたり、御尽力いただいたJR小樽駅前広場再整備基本計画検討委員会委員の皆様をはじめ、貴重な御意見をいただいた市民の皆様にご心から御礼申し上げます。

令和4年5月

小樽市長 迫 俊哉

目 次

	頁
第 1 章 序章 -----	1
1.1 計画策定の背景および目的 -----	1
1.2 計画の位置付け -----	2
1.3 計画区域 -----	2
1.4 本計画の構成 -----	3
第 2 章 まちづくりの方向性 -----	4
2.1 上位計画の整理 -----	4
2.2 関連計画の整理 -----	6
2.3 JR 小樽駅前広場に求められる役割-----	16
第 3 章 JR 小樽駅前広場等の現状 -----	17
3.1 現状の整理 -----	17
3.2 周辺環境等の整理 -----	35
3.3 市民意識の把握 -----	41
第 4 章 JR 小樽駅前広場の問題点および課題 -----	47
4.1 JR 小樽駅前広場における現状の問題点-----	47
4.2 JR 小樽駅前広場における課題-----	51
第 5 章 JR 小樽駅前広場の再整備基本方針 -----	54
5.1 基本コンセプト -----	54
5.2 再整備の基本方針 -----	55
第 6 章 再整備基本計画 -----	58
6.1 検討フロー -----	58
6.2 各交通施設における必要施設規模（台数）の設定 -----	58
6.3 配置計画の設定 -----	68
6.4 再整備基本計画（案） -----	73
参考資料 -----	78
7.1 JR 小樽駅前広場再整備基本計画検討委員会-----	78

